

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.11**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第73号

TOP NEWS

遠山文部科学大臣 本学角間キャンパスを視察

遠山敦子文部科学大臣は、第14回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」の開会式出席に先立ち、10月

10日午前、金沢大学角間キャンパスを視察し、林勇二郎学長、中村信一副学長、金子劭榮副学長、和田敬四郎附属図書館長、



大島有史事務局長らと学長室で懇談し、本学改革の現況、総合移転第II期計画事業の進捗状況、角間の里山自然学校の取組み等について説明を受けた。

その後、キャンパス内を徒歩で移動して附属図書館と資料館を視察し、本学の貴重な蔵書や所蔵品について、和田附属図書館長と笠井純一資料館長から説明を受けた。

秋晴れのもとアカンサス インターフェイスを歩く遠山大臣(中央)と大学関係者



金沢市街の古地図を鑑賞する遠山大臣
=附属図書館特別閲覧室(3階)



あいさつを交わす遠山大臣と林学長
=学長室

巻頭言

IT時代の後にくるもの



経済学部長
渡邊 力

家が老朽化したので最近建て替えた。古い家は段差が高く、敷居につまずき、足の指をよく痛めたりした。素早い動きの出来た若い時はそんなことはなかったが、年を重ね、動きが鈍くなったのであろう。体の衰えを利便性で補おうと思い、バリアフリーとまではいかないが、家の中の段差をなくし、ボタン一つで操作できるようにした。移った当初は快適な生活だと思ったが、今はこれでよかったのだろうかという疑問を持ち始めている。体をあまり動かす必要のない生活、待機電力による電力の無駄遣いなど環境汚染に協力する生活は、時代の流れに逆行しているのではないかという疑問である。

以前テレビで「若年健忘症」の特集番組を放映したことがあった。パソコン操作を日常業務とする30代の中堅技術者が、若年健忘症にかかり仕事を続けられなくなるという症状と、

その回復に向けての努力であった。試行錯誤の末、脳のある分野に障害が起こること、小説などの文章を手で写すという手作業がこの病気に有効であるという療法の発見などの結果、職場復帰を果たすことができたという内容であった。パソコンに向かって仕事をすることが脳を活性化するのではなく、むしろ退化させる場合があるというのは感覚的には理解できるが、IT時代に新たな問題を提起したという意味で印象に残った番組であった。ITという場合、ほとんどの人は計算速度、情報の伝達速度、記憶容量あるいはベンチャービジネスなどの技術的な問題を想定するであろう。これは経済的効率性を追求することが当然だと思われること、技術の進歩が即、明るい未来を切り開くという考え方がまだ当然のように思われていることの証左と言っていい。技術的に解決すべき問題が山積している以上これはしかたがないことかもしれない。しかしインターネットを利用した犯罪や携帯電話に関わる倫理観の問題などIT社会特有の様々な問題が生じてきている現在、人間の価値観や倫理観に関わる問題やIT時代の負の側面にメスを入れ、人間をトータルに見る社会的、哲学的側面からのアプローチが今後は必要不可欠となるであろう。

目次

遠山文部科学大臣本学角間キャンパスを視察	1	平成14年度新規採用者オリエンテーション	9
巻頭言 IT時代の後にくるもの 経済学部長 渡邊 力	2	セクシュアル・ハラスメント相談員研修会	9
第14回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」 ー学びごころ 伝えよう かがやく あすへ世界へー	3	石川地区国立学校教室系技術職員研修	9
石川で学ぼう！第1回いしかわ学びのフォーラム	3	北京大学校葯学院との国際学術交流協定に基づく合同セミナー	10
平成14年度実験動物慰霊祭	4	ソウル大学校葯学大学と葯学部の学部間交流協定 調印式と協定締結記念第1回合同セミナー	10
感謝状贈呈式 英国の名車「71年式モーガン」を 改造した電気自動車を寄贈	4	オリエンテーション及び消防訓練	10
日本中国語学会全国大会	4	留学生の作品が事務局棟を飾る	10
日本測地学会第98回講演会	4	北陸史学会の特別講演 「中世的兵農分離と百姓の朝鮮侵略動員」	11
自然計測応用研究センター設立記念シンポジウム	5	市民講演会：「物理学最前線」 《ニュートリノ》ってなんじゃらほい？	11
「北陸技術交流テクノフェア2002」	5	公開講座	11
ベンチャーへの挑戦「アントレプレナーセミナー」	5	香林坊ハーバー開港式	11
第2回中部地区国立大学等研究協力課長連絡会	5	理学部で交通安全講習会	11
特集 21世紀COEプログラム 「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」	6	総合教育棟で校舎内禁煙	11
講演会「常識の身体と未知の身体 ー呼吸は身体のmodulatorー」	8	角間の里山自然学校から	12
教育フォーラム「地域の教育力を学校に活かす」	8	学内教職員ボウリング大会	12
第6回金沢大学事務OB会 総会・親睦会	8	ふれあいコンサート	12
自己啓発研修	9	寄贈絵画「宇宙の窓」	12
民間派遣研修報告会	9	文部科学省関係機関等教職員駅伝競争大会	12
		編集後記	12

ビッグニュース

第14回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」 —学びどころ 伝えよう かがやく あすへ世界へ—

本学は、10月10日から14日の5日間にわたり石川県産業展示館を主会場として開催された「第14回全国生涯学習フェスティバル」において、「大学開放の在り方に関する研究会」、「生涯学習実務者協議会」の事業を文部科学省と共催し、また、「生涯学習見本市」の催しにも参加した。

特に市民参加型に留意して、11日、12日の2日間にわたり石川県教育会館を会場に開催した2つの事業には、連日、全国から約300名の教育機関の関係者及び20名近くの市民が参加した。



「生涯学習見本市」で、本学のブースを訪れる入場者
=10月13日、石川県産業展示館4号館



大学開放の新たな試み等についてパネルディスカッション
=10月11日、石川県教育会館3階ホール



地域と大学をつなぐ新たな挑戦について討議
=10月12日、石川県教育会館3階ホール



あいさつする金口恭久
文部科学省生涯学習推進課長



基調講演する
八田英二同志社大学学長



当番大学としてあいさつを行う
林学長

石川で学ぼう！ 第1回いしかわ学びのフォーラム

人口10万人当たりの高等教育機関数（19）が京都に次いで全国第2位を誇る石川で学ぶ意義をテーマにした「第1回いしかわ学びのフォーラム」が、石川県の主催で10月26日、高校生、保護者、教育関係者等を集めて開催された。

学長座談会の後には各大学の「名物教授」6名による出前講座もあり、本学の田中一郎工学部教授が「ガリレオ・ガリレイと現代科学」について講義した。



学長座談会「石川で、金沢で学ぶ価値」に臨む林学長
=石川県教育会館3階ホール

ニュースの杜

平成14年度実験動物慰霊祭

医学部、薬学部及びがん研究所の共催による、平成14年度実験動物慰霊祭が10月9日、動物実験施設前で行われ、教職員及び学生約150名が献花した。

慰霊碑を前に黙禱を捧げた後、福田龍二医学系研究科長・医学部長が動物達に感謝の意を表した。



感謝の言葉を述べる、福田医学系研究科長・医学部長
＝動物実験施設前

感謝状贈呈式

英国の名車「71年式モーガン」を 改造した電気自動車を寄贈

10月16日、林学長から、学生の手でレーシングカー製作に挑戦している金大フォーミュラー研究会に英国の名車「71年式モーガン」を改造した電気自動車を寄贈した三津守与市郎氏（旧金沢高専OB）に対して、感謝状を贈呈した。

また、当日、三津守氏から絵画「宇宙の窓」（画 池田道夫）の寄贈もあった。〔絵画は12頁に掲載〕



三津守氏（右から3人目）と大学関係者
＝事務局特別会議室



第1日目のパネルディスカッションの様子
＝10月26日、市内のホテル

日本中国語学会全国大会

10月26日、27日の2日間、角間キャンパスと市内のホテルを会場に、日本中国語学会第52回全国大会が「中国語学と隣接領域」をテーマに開催され、約300名が参加した。

日本測地学会第98回講演会

10月28日から30日にわたり測地学国際シンポジウム金沢、日本測地学会第98回講演会が金沢市観光会館で行われた。林学長のあいさつで幕を開けた学会では、国内外から集まった研究者が各々の成果を報告した。また、28日夜には市民のための講演会が開かれ、金沢が生んだ日本初の世界的天文測地学者である木村栄（ひさし）氏の業績の紹介などに150名余りの市民が耳を傾けた。



あいさつする林学長
＝10月28日

日本測地学会第98回講演会風景
＝10月29日、観光会館大集会室

ニュースの杜

自然計測応用研究センター設立記念シンポジウム

10月15日、自然計測応用研究センターの設立を記念したシンポジウムが開催され、「我が国の環境政策と環境技術研究開発の動向－計測の役割と技術開発への期待を中心に－」と題して、指宿莞嗣産業技術総合研究所環境管理研究部門長が講演した。学内外から約80名が出席した。シンポジウムでは「センターの目指すもの」と題して、センター各部門長から研究概要の説明があった後、パネリストを交じて意見交換が行われた。



センタースタッフを紹介する
金岡千嘉男自然計測応用研究センター長



あいさつする林学長
＝大学会議ホール

「北陸技術交流テクノフェア2002」

10月24、25日、「北陸技術交流テクノフェア2002」が福井県産業会館で開催された。本学からは共同研究センターと工学部デジタルシステム研究室の2ブースが出展して、約200名の来場者に研究成果を実演した。



「情報解析・システム推定を行う適応システム」実演
＝10月24日、福井県産業会館

ベンチャーへの挑戦 「アントレプレナーセミナー」

10月22日、共同研究センター、大学院自然科学研究科及び石川県産業創出支援機構の主催で、「大学におけるベンチャーの可能性を探ろう」をテーマとする「アントレプレナーセミナー」が開催され、約90名が参加した。



パネルディスカッション
＝工学部秀峯会館中会議室

第2回中部地区国立大学等 研究協力課長連絡会

10月3日、本学を当番大学として、第2回中部地区国立大学等研究協力課長連絡会が開催され、法人化後の研究協力事務体制、科学研究費補助金、外部資金受入れ、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(VBL)等について情報交換が行われた。



連絡会を主宰する眞島研究協力課長
＝事務局特別会議室

特集 21世紀COEプログラム

世界最高水準の研究教育拠点の形成をめざす「21世紀COEプログラム」の概要

「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」

—モニタリングネットワークの構築と人為的影響の評価—

北陸三県で唯一の拠点 補助金額 全国で2位

対象10分野のうち今年度公募があった分野は生命科学、化学・材料科学、情報・電気・電子、人文科学及び学際・複合・新領域の5分野で、全国の国公立大学163大学から464件の申請があり、うち50大学113件が採択された。本学は5分野に各1件ずつ申請した。

本学が採択された学際・複合・新領域の分野では申請のあった78大学113件から22大学24件が採択され、京都大学の「環境調和型エネルギーの研究教育拠点形成」プログラムの3億2千3百万円（年額）に次いで2番目となる3億8百万円（同）の補助金が交付される。

なお補助金は5年間交付される予定であるが、2年経過後に受ける中間評価等の結果によっては、当初計画どおり補助金が交付されなくなったり、補助が打ち切られることがある。

プログラムの特長

基本スタンス

- 「自然・人間・社会との共生・調和」、「高齢社会への挑戦」、「北陸から環日本海・アジア地域への展開」
- 「学際性」、「総合性」、「地域性」の特徴の発揮と専門の融合
- ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー、材料の科学技術重点分野に対応

特色の明確化と個性化

- 幅広い知の創成、領域形成と体系化による学問領域の開拓
- 知の移転による先導的な科学技術基盤の確立
- 開拓された学問領域を取込んで有為な人材を育成
- 以上による研究教育の拠点を形成し、高度な情報の発信

事業推進担当者（20名）

早川 和一 教授（自然科学研究科地球環境科学専攻）＝拠点リーダー

荒井 章司 教授、加藤 道雄 教授、田崎 和江 教授、矢富 盟祥 教授

神谷 隆宏助教授、川西 琢也助教授、木津 良一助教授、佐藤 努助教授

塚脇 真二助教授、指宿 堯嗣 教授（以上、自然科学研究科地球環境科学専攻）

柏谷 健二 教授、金岡千嘉男 教授、小村 和久 教授、笹山 雄一 教授

中村 浩二 教授（以上、自然計測応用研究センター）

御影 雅幸 教授、鎌田 直人助教授（以上、自然科学研究科生命科学専攻）

木村 繁男 教授（自然科学研究科システム創成科学専攻）

山本 政儀助教授（自然科学研究科物質構造科学専攻）



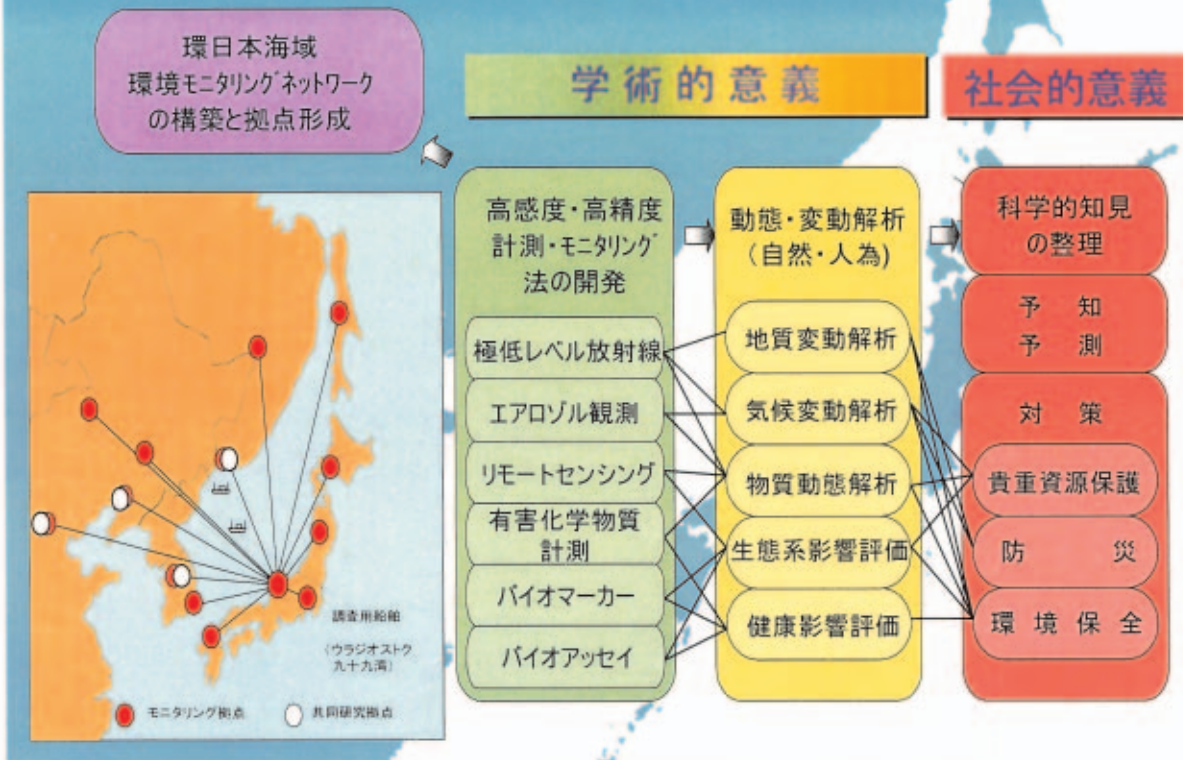
拠点リーダーの早川教授

重点研究課題

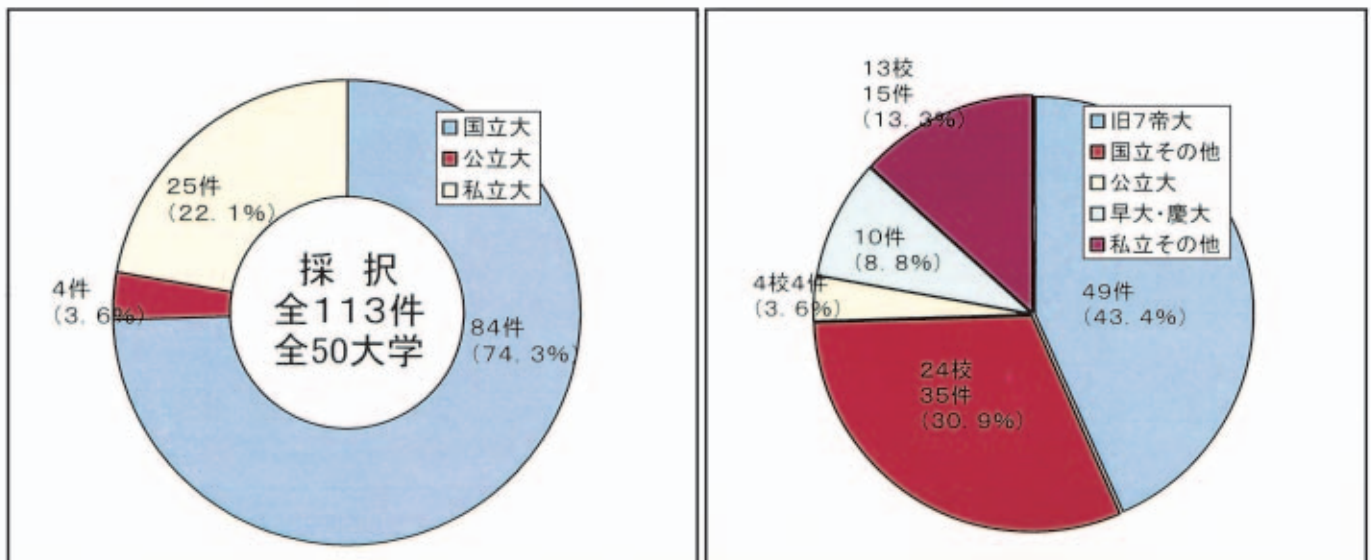
- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 日本海重油汚染 | 2 放射能の環境影響 |
| 3 酸性雨雪 | 4 多環芳香族炭化水素類の挙動と毒性 |
| 5 森林衰退 | 6 地質構造と環境の長期変動 |



学術的・社会的意義



国公立別の採択数



講演会等

講演会「常識の身体と未知の身体 －呼吸は身体のmodulator－」

10月11日、教養教育機構講演会がひらかれ、約30名の学生及び職員が参加した。講師の東北大学加齢医学研究所教授貫和敏博氏は「常識の身体と未知の身体－呼吸は身体のmodulator」と題して、講演した。



講演する貫和教授
＝総合教育棟会議室



進行する中川一史教育学部附属教育実践総合センター助教授
＝野々市町文化会館

教育フォーラム 「地域の教育力を学校に活かす」

10月6日、野々市町文化会館で教育学部が主催して「地域の教育力を学校に活かす」をテーマにした教育フォーラム2002がひらかれた。パネルディスカッションでは「地域と学校の連携のあり方とは」について討論され、市民など約60名の参加があった

第6回金沢大学事務OB会 総会・親睦会

金沢大学事務OB会の第6回総会・親睦会が10月25日、金沢市内のホテルで開催され、OB・現役合わせて約80名が出席した。

2年ぶりに開かれた総会では、大島事務局長による本学の現況報告があり、引き続き親睦会で、参加者は昔話を肴に歓談するなど、和やかに旧交を温めながら情報交換を行った。



あいさつする大島事務局長



今後の会の運営について説明する
湯口総務部長



OB・現役で記念撮影

研修会・報告会



あいさつする大島事務局長
＝事務局大会議室

自己啓発研修

10月17日、第8回自己啓発研修（放送大学平成14年度第1学期）閉講式及び第9回自己啓発研修（放送大学平成14年度第2学期）閉講式が行われた。

民間派遣研修報告会

10月17日、自己啓発研修の一環として平成14年度民間派遣研修の報告会を開催した。この研修は、平成13年度から行われているもので、今年度は、附属図書館の北村久美子主任が金沢市内のデパートで約1ヶ月間業務を体験し、その成果等を報告した。



業務体験を報告する北村主任
＝事務局大会議室



本学の概要の説明を受ける10月新規採用者
＝事務局大会議室

平成14年度新規採用者 オリエンテーション

10月21日、10月に新たに採用された職員7名の研修が実施され、本学の概要、学生支援、待遇、人事・服務等制度、会計制度及び施設整備計画等について説明を受けた。

セクシュアル・ハラスメント 相談員研修会

10月23日、セクシュアル・ハラスメント相談員研修会（角間地区）が開催され、27名の相談員が出席した。



先入観や偏見への気付きに関するワークショップ
＝事務局第一会議室

石川地区国立学校教室系技術職員研修

10月3日、4日の2日間にわたり、平成14年度石川地区国立学校教室系技術職員研修が、工学部を会場に開催され、県内の3高等教育機関から13名が参加した。



技術発表する研修生
＝10月3日、工学部秀峯会館中会議室

国際交流

北京大学校薬学院との国際学術交流協定に基づく合同セミナー



張 亮 仁 副教授の講演

10月7日、薬学部は、協定校である中華人民共和国北京大学校薬学院と合同セミナーを薬学部講堂で開催した。北京大学校から3名、薬学部から2名の教官が英語での講演を行い、教職員や大学院生等、約100名が聴講した。



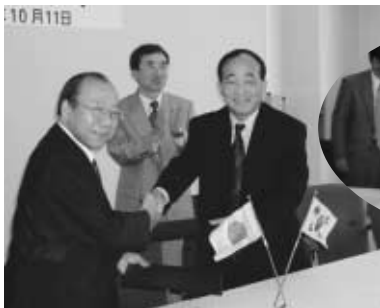
講演者が揃って記念写真

ソウル大学校薬学大学と薬学部の学部間交流協定調印式と協定締結記念第1回合同セミナー

10月11日、薬学部会議室において、大韓民国 ソウル大学校薬学大学と薬学部の国際学術交流協定締結の調印式が薬学部の教授、助教授約20名が見守る中行われた。

引き続き薬学部講堂において、第1回合同セミナーを開催した。ソウル大学校から2名、本学部から1名の教官が英語で

の講演を行い、約80名の教職員や大学院生等が聴講した。



調印後の握手を交わす代表



調印風景



徐 教授 講演



講演終了後の記念撮影

オリエンテーション及び消防訓練

10月7日、10月に渡日して国際交流会館に入居した留学生約50人を対象にしたオリエンテーションが、大学教育開放センター講義室で行われた。

引き続き、国際交流会館前広場で防火訓練が行われた。



オリエンテーションの様子

消火活動を体験する
10月渡日外国人留学生

留学生の作品が事務局棟を飾る

2001年度日本語・日本文化研修留学生が二俣の紙漉き名人齊藤博さんの指導で大きな二俣和紙作りに挑戦し、幅2.5m、長さ10m余りの作品が出来上がった。これがタペストリーになり、事務局棟吹き抜けの壁面を飾っている。

二俣和紙「青空に咲いた雲」
2002年制作 薬学部留学センター
日本画部・日本文化研修コース講師 齊藤博

誠実さと夢を象徴

金沢大学サテライト・プラザ等

北陸史学会の特別講演
「中世的兵農分離と百姓の朝鮮侵略動員」



講演する稲葉継陽熊本大学文学部助教授
=10月17日, 金沢大学サテライト・プラザ

市民講演会：「物理学最前線」
《ニュートリノ》ってなんじゃらほい？



講演する佐藤文埼玉大学理学部助教授
=10月18日, 金沢大学サテライト・プラザ

公開講座



「グローバル時代の経営戦略と法」を講義する吉村文雄経済学部教授
=10月23日, 金沢大学サテライト・プラザ

10月13日, 廃館の映画館を改修し, 本学などが自主的に運営する街中文化創造拠点「香林坊ハーバー」の開港式が行われ, 金沢市・大学関係者等の約50名が出席した。

香林坊ハーバー開港式



テープカットする関係者
=10月13日, 香林坊ハーバー前
山出金沢市長と握手する林学長

理学部で交通安全講習会



中警察署員を招き, 交通安全講習会を開催し, 学生・大学院生の約130名が参加した。



講習会風景
=理学部大講義室

総合教育棟で校舎内禁煙

喫煙による健康への影響に関し社会的関心が高まる中で, 総合教育棟では10月1日から校舎内禁煙が実施され, 混乱もなくクリーンな環境での後期授業が開始された。



校舎入り口近くに設置された吸殻入れ

角間の里山自然学校から

田上小学校5年生は角間の里山において、基地づくりや竹細工、植物観察や昆虫採集、食材探しやネイチャーゲームなどの学習に取り組んだ。9月12日から10月23日の合計8回にわたって実施された活動には、角間の里山メイトが指導スタッフとして参加した。



小学生が地域の指導者とともに作った基地
=10月23日

学内教職員ボウリング大会



始球式で投球する湯口総務部長
=10月29日、金沢市内のボウリング場

ふれあいコンサート

10月2日、附属養護学校体育館において、元ワイルド・ワンズの鳥塚しげき夫妻による楽しいコンサートが開かれた。



飛び入りで楽しく演奏する参加者

寄贈絵画「宇宙の窓」



(画 池田道夫)

文部科学省関係機関等教職員駅伝競争大会

10月26日、文部科学省主催の第10回文部科学省関係機関等教職員駅伝競争大会が開催され、本学から男子の部にA、Bの2チーム編成で12名が参加した。

このうち、Aチームは68チーム中11位、Bチーム49位と各チームとも健闘し、昨年の順位を上回った。



皇居桜田門内で力走後に記念撮影

編 集 後 記

10月10日から14日まで石川県産業展示館を主会場に開かれた「第14回生涯学習フェスティバル」に、本学は2つの全国会議を主催し見本市にも参加した。産業展示館4号館に出展した見本市のブースに訪れた多数の中高校生や父母等には、漏れなく入学案内パンフを手渡し、また西町のサテライト・プラザでの入学相談活動を紹介した。

先日、そのうちの一人で教育学部志望の高校生がサテライト・プラザを訪ねたところ、ちょうど勤務中の学生職員（教育学研究科2年生）が大学を案内してくれたため、彼は大いに感激したそうである。ほんの少しだけれど、5日間立ちっぱなしで広報活動に参加してくれた職員の努力が実を結んだものと、密かに喜んでいる次第である。

(総務部企画広報室専門員 西谷公作)

平成14年11月15日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS” (キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。